

キャラクター名
須郷隆真 (すごうりゅうま)

プレイヤー名

シンドローム	オルクス モルフェウス		ワークス	格闘家	カヴァー	強面格闘家
	オプショナル		年齢	38	性別	男性
覚醒	犠牲	衝動	飢餓	初期侵食率	30 %	
出自	天涯孤独	経験	妻の死	邂逅	FH・UGN	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	25
肉体	1	1	0			2	行動値	11
感覚	3	0	2			5	(非装備時)	11
精神	1	0	0			1	戦闘移動	16
社会	3	0	0			3	全力移動	32

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	2		射撃			RC			交渉		
回避	1		知覚	1		意志			調達		
運転:			芸術:			知識:			情報: 噂話	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ハンドレットガズ	100↓	射撃	5r	19		命中:0 攻撃力:+ [LV+4] ガード値:- 射程:30m
ハンドレットガズ	100~160	射撃	5r	20		
ハンドレットガズ	160↑	射撃	5r	21		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
UGNボディーマー	12	8			

所持品	

合計装甲: 8 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
ロイス 錬金術師	P	N		
シナリオロイス:《絡んできた男》	P 好奇心	N 不快感		
妻	P 純愛	N 悔悟		
娘 (スベリオルロイス)	P 純愛	N 恐怖		
桜庭 理緒	P 庇護	N 不安		
碧山 明狩	P 信頼	N 不安		
天花寺 愛美	P 庇護	N 不安		

最大財産P: 6 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンソレイト:モルフェウス	2	2	メジャー	-	-	シンドローム	-	
効果: C値-Lv (下限7)								
ハンドレットガズ	10	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果: 銃作成 射程30 攻撃Lv+4								
クリスタライズ	1	4	メジャー	武器	-	シンドローム	100↑	
効果: 攻撃力+[LV*3]、装甲値無視、1シナリオ3回まで								
キガソティックモード	1	3	メジャー	武器	範囲(選)	射撃	-	
効果: 射程を範囲(選択)にして武器破損								
オーバーロード	1	3	オート	至近	オート	自動	80↑	
効果: 武器の攻撃力を2倍にして武器破損								
妖精の手	3	4	オート	視界	オート	自動		
効果: 対象のダイス目ひとつを10にする。シナリオLV回								
	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

<http://character-sheets.appspot.com/dx3/edit.html?key=ahVzfmNoYXJhY3Rlci1zaGVldHMtbXBxYFgsSDUNoYXJhY3RlckRhdGEYlqGjSww>

いつもは自分の道場の中で一人鍛錬を続けている、38歳独身の寡男。幼い頃に家も家族も親族も友人も何もかもを失い天涯孤独の身となる。

施設で18年過ごし、同じく施設にいた女性と恋に落ち、18歳の頃に付き合いはじめ、20歳で婚約する。しかし28歳の時にFHとUGNの戦いに偶然巻き込まれ、避難しようとした矢先にFHの一人が放った電撃の弾が妻へ命中。それが元で妻は死去し、須郷はそれを看取った後、何もできなかった自分への怒りと深い悲しみからオーヴァード化してしまう。その後、FHはもちろんFHと戦闘を繰り返すUGNにもいい感情を抱くことはなくなった。以後、30歳を迎える頃には「結局己の身を守る事が出来るのは己しかない」という独自の答えに行きつき、同時に「己が弱いから大切なものも守れなかった」としてただひたすらに己を鍛え上げる日々を以後8年も送ってきた。

須郷と妻の間には娘がいる。オーヴァード化はしていないものの、須郷自身が争いの気配が絶えない立ち位置にいるため、いつかは巻き込んで死なせてしまうのではないかと不安を抱えた日々を送っている。